

令和6年2月号【月刊下水道】

＜国交省下水道部と意見交換会 新時代下水道実現の推進など提案＞

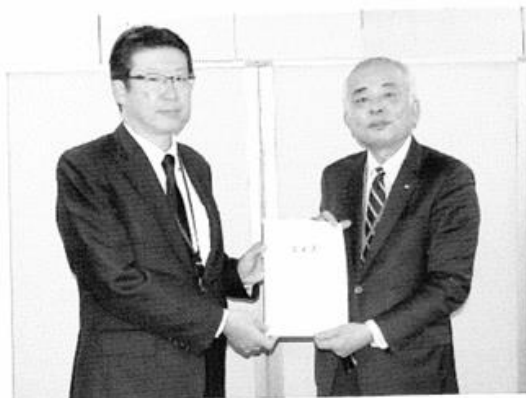
水コン協：

国交省下水道部と意見交換会 新時代下水道実現の推進など提案

(公社)全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）は12月13日、間山一典会長（㈱日水コン社長）らが東京・千代田区の国土交通省下水道部を訪れ、来年度の下水道事業予算の確保と課題解決に向けた施策・支援の推進に関する提案書を松原誠下水道部長に手渡した（写真）。

水コン協の間山会長は提案書提出にあたり、「『これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦』をスローガンに協会のビジョンを策定してから約10年が経ち、現在はウォーターPPPや水道行政の国交省移管など（に代表されるように）、社会の変わり目にある。これまでの10年がマインドセットの期間だったとすれば、これからは、それを具現化、具体化、実体化していく時期だと考える。次期ビジョン作成に反映すべく、我々コンサルタントに対する期待や叱咤激励をいただきたい」と話した。

これを受けて国交省の松原下水道部長は、「下水道はまさに変革期にあり、下水道分野に対する期待はとても大きい。そうしたなか下水道部では『下水道の持続と進化』を標榜しているが、持続と進化に向けて徹底的にチャレンジしていく必要があると考えている。そういった課題に対し、下水道を変化させていくなかで、コンサルタントへの期待は大きい。水コン協の皆様には上水道の話もぜひとも聞かせていただきたい



松原部長（写真左）に提案書を手交する間山会長（同右）

い」と応じた。

提案書では、「ヒト・モノ・カネの不足」といった課題を抱えながら頻発する自然災害に対峙し続けることが求められている下水道に対して、「下水道資源化の推進・DX推進」「収支構造の適正化」等の課題解決を図りウォーターPPPを推進し下水道事業の維持・成長に貢献していく姿勢を示し、以下3点を柱とする提案をとりまとめた。(1)下水道事業の継続のための事業執行予算の確保、(2)激甚化する災害に対する強い下水道の構築・推進（①流域治水、浸水対策の推進、②地震対策および津波対策の取組強化）、(3)新時代下水道実現の推進（①広域化・共同化・収支構造の適正化の推進、②下水汚泥資源の肥料利用・脱炭素化の推進、③ウォーターPPPをはじめとした多様な形態による官民連携事業の推進、④下水道におけるDX化の加速・推進）。